

第1次茅野市ICT教育アクションプラン(教育内容系統表) 令和3年3月改訂版

資料

ICTの活用による主体的・対話的で深い学びの実現

知識・技能

思考力・判断力・表現力

学びに向かう力・人間性等

対象となる 資質・能力	主要 観点	小学校			中学校	特別支援教育	教科指導におけるICT活用	ICT環境整備等		
		低学年	中学年	高学年						
ICTの活用による主体的・対話的で深い学びの実現	情報リテラシーの習得	基本 目標	児童がコンピュータやインターネットに慣れ親しみ、コンピュータで文字を入力するなどの基本的な操作及び情報モラルを身に付け、インターネットを適切に活用できるようにする。また、インターネット上の膨大な量の情報の正しさを判別し、適切な情報をわかりやすくまとめ、発表する能力を身に付ける。以上のことを通して、問題を発見・解決する能力と態度を育む。			生徒が情報モラルを身に付け、インターネットを適切かつ主体的、積極的に活用できるようにする。更に、以上のことを通して、問題を発見・解決する能力と態度を育み、情報社会に主体的に参画し、よりよい社会を構築していこうとする情意や態度を育む。	障がいの状態や特性に応じたICT機器の活用により、学習上又は生活上の課題を克服し、自らの可能性をより伸ばす。	ICT活用により主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行う。	基本 目標	情報機器を適切に活用した学習活動が実現できるための必要なICT環境を整備する。
		目標	<p>情報活用基礎となる情報手段の特性の理解と課題や目的に応じた情報手段の適切な活用</p> <p>・コンピュータの各部の名称と基本的な役割を理解する ・コンピュータやソフトウェアを起動する ・キーボードやマウスを操作する ・文字を入力する ・電子ファイルを保存、整理する ・インターネットを閲覧する</p> <p>・身近な生活でプログラミングが活用されていることに気付く ・コンピュータが世の中の役に立っていることに気付く</p>	<p>情報を適切に扱う方法の理解と必要な情報の主体的な収集・判断・表現・処理の習得</p> <p>・情報収集するための適切な方法を理解する ・インターネットの基本的な特性を理解する ・文章を編集する ・図形、表、グラフを作成する ・インターネットにより必要な情報を検索する ・収集した情報を比較判断する</p> <p>・プログラムとは手順を自動化したものであることを知る ・物事の原因と結果の関係性に気付く、それを筋道立てて他者に伝えたりする</p>	<p>自らの情報活用を評価・改善するための基礎的な理論の理解と受け手の状況などを踏まえた発信・伝達の習得</p> <p>・わかりやすいまとめ方、発表の方法を理解する ・インターネットの活用による資料収集、活用、整理を行う ・図形、表、グラフ、イラスト等の多様な表現方法を活用する ・受け手にとってわかりやすい発表資料を作成する ・大型提示装置を活用した発表を実施する</p> <p>・ロボット制御を体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付ける ・問題解決のために、物事を構成する要素に分解し、その組合せや手順を論理的に考えられる力を育む</p>	<p>情報手段の特性と情報活用の評価・改善と情報手段の適切かつ主体的、積極的な活用</p> <p>・コンピュータの構成と基本的な情報処理の仕組み、情報通信ネットワークの構成、メディアの特徴と利用方法等、コンピュータを利用した計測・制御の基本的な仕組みを理解する ・ICTを活用して問題を発見・解決するための方法について理解する ・課題を解決するために自ら効果的な情報手段を選んで必要な情報を収集する ・様々な情報源から収集した情報を比較し必要とする情報や信頼できる情報を選び取る ・ICTを用いて情報の処理の仕方を工夫する ・自分の考えなどが伝わりやすいように表現を工夫して発表する</p> <p>・情報手段を活用した学習活動の過程や成果を振り返ることを通して、自らの情報活用を評価・改善するための方法等を理解する ・必要な情報の収集・判断・表現・処理・創造にICTを活用する ・プログラミングやシミュレーションを効果的に実行する ・複数の情報を結び付けて新たな意味を見出す</p>	<p>情報整理・情報発信の手段と必要性の理解とICT機器の日常的な活用による学習意欲の向上</p> <p>・情報を整理することで、活動を振り返る ・喜びや達成感を他者と共有する ・インターネットを通じたコミュニケーション手段と情報交換の意義を理解する ・画像編集等を活用した作品を作成し、課題に集中する ・時間的な見通しを視覚的に立てて、計画的に学習に取り組み ・本の視覚効果や聴覚効果を活用により自主的に読書ができる</p> <p>・身近な生活でプログラミングが活用されていることに気付く ・自ら情報機器を活用し、学習や生活に使ってみようとする</p>	<p>児童生徒の多角的な理解を深めるための授業におけるICT活用</p> <p>・大型モニターや指導用タブレットの活用により、ユニバーサルデザインを意識した授業を行う ・デジタル教材の活用により、主体的な考え方や表現力を身に付けさせる ・デジタル教科書を使用した授業方法を研究する ・教員向けのICT活用研修会を定期的に開催する</p> <p>・身近な生活でプログラミングが活用されていることや、問題の解決には必要な手順があることに気付く ・プログラミング教材を活用した授業で、児童生徒にプログラミングを実践してもらい、「プログラミング的思考」を育成する</p>	<p>児童生徒がICT機器を効果的に活用できるICT環境整備</p> <p>・小中学校の全普通教室に1台の大型テレビと指導用タブレットを設置する ・小中学校内のネットワークを高速化する ・大型モニターを日常的に活用するための校内情報配信システムを導入する ・プログラミング・ロボット教材の検証を行う ・特別支援学級にタブレットを配備する ・デジタル教材の検証を行い導入する ・ICT支援員の業務内容を精査する</p> <p>・小中学校に1クラス分の児童生徒用タブレットを配備する ・デジタル教科書の検証を行う ・指導用デジタル教材の検証を行い導入する ・ICT支援員を配置する ・プログラミング教材、ロボット教材を導入する</p> <p>・1人1台の児童生徒用端末を配備する ・小学校の学習者用及び指導用デジタル教科書の検証を行い、導入する ・ICT支援員を配置する ・ICT教育サポートセンターについて検討する</p> <p>・中学校の学習者用及び指導用デジタル教科書の検証を行い、導入する ・ICT教育サポートセンターを開設し、教員や保護者等への支援体制を拡充する ・情報リテラシーやモラルに係るテキスト教材を作成する</p> <p>・既存の機器の次期リプレースの検討を行う ・次期計画案を策定する</p>	
ICTの活用による主体的・対話的で深い学びの実現	情報モラル・セキュリティの理解	基本 目標	<p>約束や決まりを守りながら情報社会に参加しようとする態度</p> <p>・約束や決まりを守る ・人の作ったものを大切にすることを心を持つ ・大人と一緒に使い、危険に近づかない ・不適切な情報に出会わない環境で利用する ・知らない人に連絡先を教えない</p> <p>・情報機器を失敗を恐れず触ってみようとする態度を培う</p>	<p>社会生活の中で情報が果たしている役割や及ぼしている影響の理解</p> <p>・相手への影響を考えて行動する ・自分の情報や他人の情報を大切にすること ・危険に会ったときは大人に意見を求め、適切に対応する ・情報の発信や情報のやり取りする場合のルール・マナーを知り、守る</p> <p>・情報機器を失敗を恐れず触って、目的を達成するために試行錯誤する態度を培う ・自分や他者の意見やアイデアを尊重し、助け合おうとする態度を培う</p>	<p>情報モラルの必要性や情報に対する責任</p> <p>・他人や社会への影響を考えて行動する ・情報にも自他の権利や著作権があることを知る ・予測される危険の内容が分かり、避ける ・「ルールや決まりを守る」ということの社会的意味を知り、尊重する ・自他の個人情報、第三者に漏らさない</p> <p>・複数の情報機器を使って、目的を達成しようとする態度を培う ・自分や他者の意見やアイデアを尊重し、教え合い学び合いながら共同作業に取り組もうとする態度を培う ・課題を自ら設定し、その目的や使う人を意識したプログラムをデザインして作り出そうとする態度を培う</p>	<p>望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度</p> <p>・情報化社会における自分の責任や義務について考え、正しい知識をもって行動できる ・個人の権利、著作権などの知的財産権を尊重する ・安全性の面から情報社会の特性を理解する ・トラブルに遭遇した時、主体的に解決を図る方法を知る ・情報の保護や取扱いに関する基本的なルールを知る</p> <p>・情報を多面的、多角的に吟味しその価値を見極めていこうとする態度を培う ・自らの情報活用を振り返り、評価し改善しようとする態度を培う ・情報モラルや情報に対する責任について考え行動しようとする態度を培う ・情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度を培う</p>	<p>ICT機器の活用による社会参画への促進</p> <p>・ICT機器を活用するためのルールを決め、わかりやすい表現で共有することで、約束を守ろうと意識する ・ICTを活用した学級活動により、集団活動への参加意欲を高める ・テレビ会議を通して、児童生徒が授業に参加する</p> <p>・個々の児童生徒の特性を踏まえて、得意な面を生かせるようにICTを活用しようとする態度を培う ・プログラムが正常に動作するように試行錯誤しながら制作に取り組もうとする態度を培う</p>	<p>児童生徒の情報モラル向上のための情報教育の充実</p> <p>・茅野市ICT教育推進会議と連携し、年間を通じて計画的に情報モラル教育を実施する ・教員の情報セキュリティの意識を向上し、基礎的な知識を身に付けた上で、情報モラル教育を実践する ・テレビ会議システムを活用した学習活動の研究と検証を行う</p> <p>・コンピュータの働きを、よりよい人生や社会づくりに生かそうとする態度を育む</p>	<p>教員・児童生徒の情報セキュリティへの意識向上のためのICT環境整備</p> <p>・小中学校の全普通教室に児童生徒用のネットワークを整備する ・小中学校の普通教室に無線LANを整備する ・情報モラル教育の充実に向けた効果的なデジタル教材の検証、導入を行う</p> <p>・校務支援システムを導入する ・セキュリティを確保した校務用パソコンの更新を行う ・小中学校の特別教室に無線LANを整備する ・情報モラル教育の充実に向けた効果的なデジタル教材の検証、導入を行う</p> <p>・学習系ネットワークの増強工事を行う ・情報モラル教育の充実に向けた効果的なデジタル教材の検証、導入を行う ・クラウド利用に向けたセキュリティポリシーの確認と改訂を行う</p> <p>・学習系ネットワークの増強後の利用状況を確認し、必要であれば追加工事を検討する。 ・クラウド利用に係るセキュリティポリシーの校内運用体制を整備する ・統合型校務支援システムの導入検討を行う</p> <p>・学習系ネットワークの増強後の利用状況を確認し、必要であれば追加工事を検討する。 ・統合型校務支援システムを導入する</p>	

※1 網掛けはプログラミング教育内容
 ※2 第2次茅野市ICT教育アクションプランは令和5年度(2023年度)～令和9年度(2027年度)を対象とする予定